

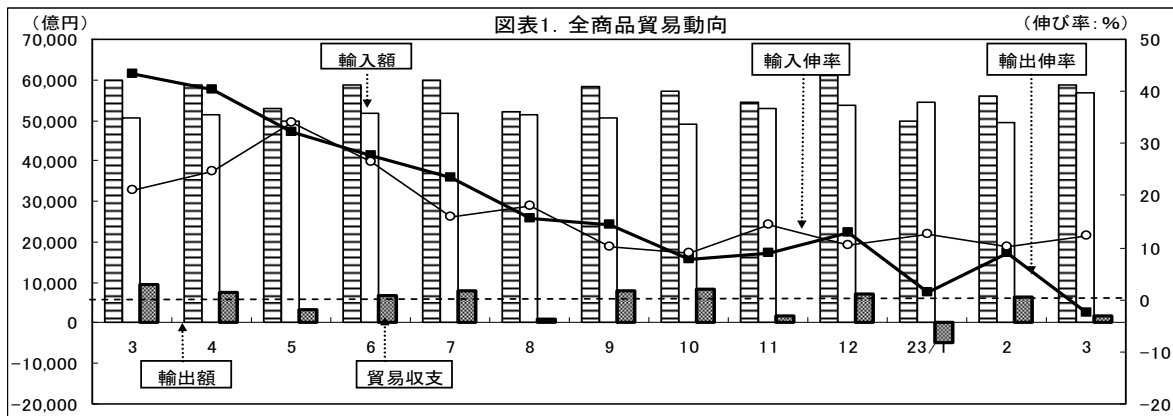
## 最近の機械貿易動向(3月)～機械輸出の伸び16ヶ月ぶりにマイナス～

日本機械輸出組合 2011. 5. 19.

平成23年3月の機械輸出額は、3兆7,295億円、対前年同月比6.3%減と16ヶ月ぶりにマイナスとなった。これは、①NIES/ASEAN、その他地域、北米向けが大幅にマイナスとなったこと、②機械輸出の1/3を占める自動車が20%と激減したことなどが要因である。4月の為替レートは対ドルで10.7%、対ユーロで6%の円高となり、営業日は前年より1日少ないことから、円建輸出額では10.8%の大幅な減少要因となる。このため、実質伸び率を3月の1.2%減と仮定すると、4月の機械輸出の伸び率は12%減と大幅なマイナスとなる。因みに4月上中旬の全商品輸出額は12.7%減となっている。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は16ヶ月ぶりのマイナス、輸入伸びは2ケタ台を維持～

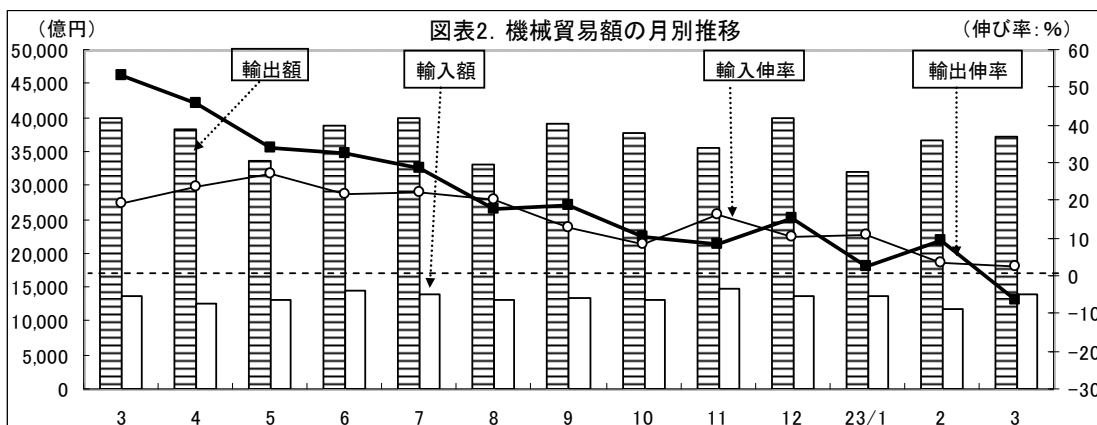
- 平成23年3月の全商品輸出額は5兆8,612億円、前年同月比(以下同じ)2.4%減と16ヶ月ぶりにマイナスとなった(2月9%増)。商品別では、全輸出額の22%を占める一般機械(7.0%増)、14%の鉄鋼等素材製品(6.8%増)が増加したものの、20%の輸送用機器(19.1%減)、18%の電気機械(6.1%減)等が大幅に減少し、全体としてマイナスとなった。
- 輸入額は5兆6,718億円、12.3%増と前月(10.2%増)をやや上回った。これは、全輸入額の31%を占める石油製品等鉱物性燃料(15.2%増)、8%の非鉄金属等原料品(39.8%増)、9%の鉄鋼等原料別製品(19.3%増)等が高い伸びとなったためである。
- この結果、3月の貿易収支は、輸出がマイナス、輸入が二桁の伸びとなったが、輸入額より輸出額の方が大きかったため僅かな黒字(1,894億円)となった。



### 2. 機械貿易動向

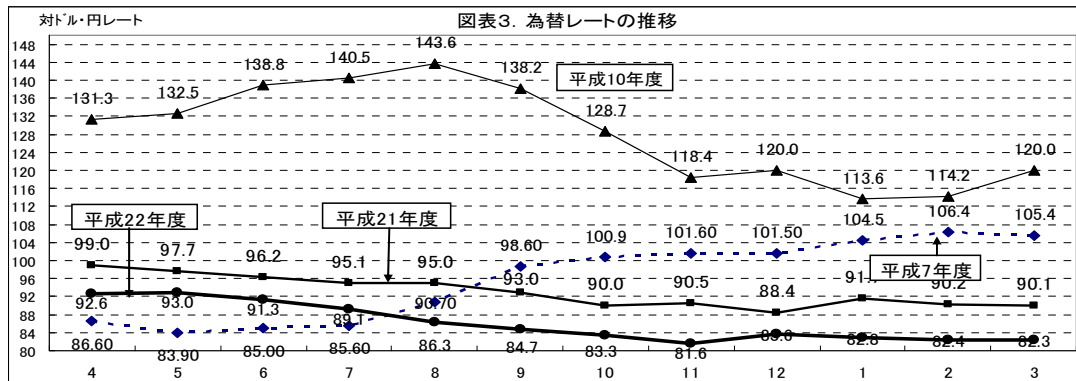
#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出はマイナス、輸入は前月の年度最低の伸びを更新～

- 全商品輸出額の64%を占める3月の機械輸出額は3兆7,295億円、6.3%減と16ヶ月ぶりのマイナスとなった(2月9.3%増)。この輸出額は、リーマンショック以前の08年3月の輸出額と比較すると71%と前月よりも低下した(2月77%)。一方、全商品輸入額の24%を占める機械輸入額は、1兆3,858億円、2.3%増と前月よりさらに鈍化した(2月3.4%増)。輸入額はリーマンショック以前の80%と前月(79%)よりやや回復基調を強めた。



(2) 為替動向・営業日～対ドル・ユーロ高で2月は5.4%、3月は5.1%の円建減少要因～

- ・3月は1ドル＝82.3円と前年比で8.7%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝113.5円とやや円高が緩んだが7.6%の円高が続いている。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では5.1%の減少要因となった。このため、3月の機械輸出の伸びは6.3%減であったが、実質伸び率は1.2%減と前月より大きく落ち込みマイナスとなった(2月14.7%増)。
- ・4月は1ドル＝82.7円と前年比で10.7%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝117.4円とやや円高が緩んだが6.0%の円高が続き、合わせて6%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年より1日少ないので4.8%の減少要因となり、円建輸出額では10.8%の大幅な減少要因となる。
- ・5月は、対ドルが現状の81円とすれば12.9%の大幅な円高となり、対ユーロが現状の115円とすれば5.2%の円高となり、合わせて7%減の為替減少要因となる。営業日は前年より1日多いので5.5%の増加要因となり、合わせて1.5%減と僅かな減少要因となる。



(3) 地域別動向～NIES/ASAN、その他地域向け二桁のマイナス、中国、EUが僅かに増加～

・機械輸出がマイナスとなった地域的要因は、①機械輸出額の27%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けは、シンガポール、インドネシア、フィリピン、韓国、台湾向けが、業種では船舶(61%減)、乗用車、半導体製造装置等産業機械が大幅に減少し、3ヶ月連続のマイナス成長となった。②次に21.1%のその他地域向けで、中近東、大洋州、アフリカ、中南米向けが軒並み2ケタ台の大きなマイナスとなり、機種では、全体の42%を占める自動車(24.0%減)や民生用電子機械、重電機械、船舶がマイナスとなったため、11.2%減となった。次が③18%を占める北米向けで、業種では全体の48%を占める自動車(21.3%減)や電子計算機、光学機械がマイナスとなり、前月から一転6.9%減となった。

一方、⑤20%を占める中国向けは、全体の23%を占める半導体製造装置等産業機械(約2.4倍)、工作機械、陸用内燃機関、医療機械、船舶が好調であったが、自動車、建設機械がマイナスとなり3.4%の微増となった。⑥13.2%を占めるEU向けは、半導体製造装置等産業機械(25.2%増)や陸用内燃機、建設機械が好調であったが、前月よりも伸び率が大きく低下し、2.7%増となった。

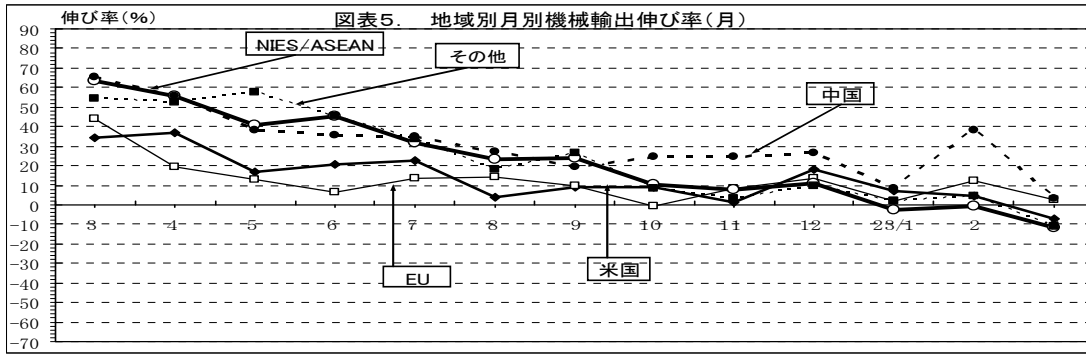
地域別に、リーマンショック以前の08年3月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN向けが79%、北米、その他地域向けは60%台、EUは未だ50%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/1			2011/2			2011/3			対08年 3月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	31,952	2.7	100	36,482	9.3	100	37,295	▲ 6.3	100	0.71
北米	6,384	7.0	20.0	7,347	4.8	20.1	6,725	▲ 6.9	18.0	0.61
EU	4,212	2.2	13.2	4,781	12.3	13.1	4,905	2.6	13.2	0.56
NIES/ASEAN	8,669	▲ 2.8	27.1	9,534	▲ 0.8	26.1	10,308	▲ 11.9	27.6	0.79
中国	5,713	8.6	17.9	7,380	38.0	20.2	7,479	3.4	20.1	1.12
その他	6,975	1.6	21.8	7,440	4.2	20.4	7,877	▲ 11.2	21.1	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/12		2011/1		2011/2		2011/3	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,957	7.4	1,618	7.3	1,705 ▲ 10.7	1,949 ▲ 13.7		
台湾	2,032	10.2	1,631	2.9	1,813 1.1	1,942 ▲ 13.1		
香港	1,894	13.4	1,287 ▲ 15.6	1,458	3.8	1,759 ▲ 10.2		
タイ	1,683	18.0	1,356	6.0	1,548	11.5	1,571 ▲ 8.9	
シンガポール	929	▲ 4.5	899 ▲ 21.0	823	▲ 18.9	924 ▲ 27.9		
インドネシア	864	33.0	538	0.1	683 ▲ 1.1	635 ▲ 25.1		
マレーシア	953	27.0	670	7.5	783	11.3	786 ▲ 3.2	
フィリピン	495	▲ 8.8	441 ▲ 1.3	420	▲ 10.1	423 ▲ 17.4		
ベトナム	316	▲ 0.9	202	▲ 18.7	260	5.7	281 ▲ 9.7	
<b>その他地域</b>								
中南米	2,550	9.3	2,514	▲ 7.2	2,051	▲ 22.5	2,799 ▲ 13.4	
中近東	1,585	▲ 5.9	1,100	▲ 14.8	1,461	▲ 0.9	1,342 ▲ 33.1	
大洋州	965	▲ 7.2	1,086	3.6	1,143	▲ 1.9	944 ▲ 15.5	
ロシア東欧等	1,020	52.3	1,089	69.9	1,358	80.0	1,152 ▲ 14.6	
アフリカ	686	11.8	767	0.9	797	14.7	832 ▲ 15.0	
インド	476	16.1	298	▲ 18.2	436	28.6	639 ▲ 59.1	

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～19業種中10業種がマイナス、自動車の落込みが全体に影響～

- 業種別では、全19業種中マイナスとなったのが10業種で、プラスの9業種を上回った。全体の26%を占める自動車は20%減と大幅に減少し、機械輸出のマイナスに大きく影響を与えた。その他、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、農業機械も二桁のマイナスとなった。
- 一方、工作機械(12ヶ月連続)、ベアリング、陸用内燃機関(14ヶ月連続)、繊維機械(17ヶ月連続)は二桁の高い伸びを維持している。
- リーマンショック以前の水準を超えているのは医療機械、ベアリングの2業種で、産業機械、光学機械、陸用内燃機関、繊維機械は90%台であるが、自動車、民生用電子機械、通信機械、電子計算機、産業車両は未だ40～50%台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

機種名	2011/1			機種名	2011/2			機種名	2011/3			対08/3比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	9,828	0.9	30.8	自動車	12,145	9.0	33.3	自動車	9,784	▲ 20.2	26.2	0.54
産業機械	5,709	21.5	17.9	産業機械	6,683	18.6	18.3	産業機械	7,390	▲ 6.9	19.8	0.90
電子デバイス	2,761	▲ 12.9	8.6	電子デバイス	2,891	▲ 5.6	7.9	電子デバイス	3,346	▲ 6.9	9.0	0.83
船舶	2,693	▲ 2.7	8.4	船舶	1,561	▲ 26.5	4.3	船舶	2,627	▲ 9.2	7.0	0.88
軽電気機械	1,653	▲ 5.2	5.2	軽電気機械	1,929	4.4	5.3	軽電気機械	2,057	▲ 4.2	5.5	0.78
民生用電子機械	1,446	▲ 12.9	4.5	民生用電子機械	1,640	0.5	4.5	民生用電子機械	1,756	▲ 15.2	4.7	0.54
重電気機械	1,445	0.4	4.5	重電気機械	1,781	16.1	4.9	重電気機械	1,893	▲ 3.6	5.1	0.86
軽機械	1,056	6.5	3.3	軽機械	1,276	19.7	3.5	軽機械	1,299	9.2	3.5	0.69
光学機械	1,049	▲ 3.7	3.3	光学機械	1,133	13.4	3.1	光学機械	1,265	4.3	3.4	0.96
建設機械	923	57.7	2.9	建設機械	1,256	52.2	3.4	建設機械	1,203	6.7	3.2	0.62
工作機械	503	63.0	1.6	工作機械	764	90.9	2.1	工作機械	928	48.4	2.5	0.89
通信機械	461	▲ 10.6	1.4	通信機械	469	▲ 4.0	1.3	通信機械	461	▲ 17.4	1.2	0.47
電子計算機	409	▲ 24.1	1.3	電子計算機	424	▲ 19.4	1.2	電子計算機	489	▲ 27.2	1.3	0.45
ベアリング	329	19.8	1.0	ベアリング	384	24.2	1.1	ベアリング	424	18.8	1.1	1.15
陸用内燃機関	328	38.0	1.0	陸用内燃機関	431	51.1	1.2	陸用内燃機関	434	20.5	1.2	0.91
医療機械	262	▲ 10.3	0.8	医療機械	307	▲ 0.8	0.8	医療機械	361	▲ 2.0	1.0	1.21
繊維機械	146	13.1	0.5	繊維機械	237	63.5	0.6	繊維機械	276	37.6	0.7	0.97
農業機械	143	▲ 3.6	0.4	農業機械	153	▲ 9.1	0.4	農業機械	142	▲ 29.4	0.4	0.63
産業車両	102	32.0	0.3	産業車両	127	33.0	0.3	産業車両	138	6.8	0.4	0.52
19業種合計	31,246		97.8	19業種合計	35,591		97.6	19業種合計	36,273		97.3	0.70

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～工作機械、産業用ロボット、繊維機械は好調、乗用車、デジカメはマイナス～

・伸び率上位機種は、①中国、北米、韓国・台湾等全地域向け**工作機械**(48.4%増)、②北米、EU、中国等向け**産業用ロボット**(39.0%増)、③中国、その他、ASEAN 向け等**繊維機械**(37.6%増)、④中国、北米、EU 向け等**陸用内燃機関**(20.5%増)、⑤EU、ASEAN、北米向け等**ベアリング**(18.8%増)、⑥中国、EU、韓国・台湾向け等**バルブ・コック**(17.3%増)、⑦中国、北米、EU 等**半導体製造装置**(13.5%増)、⑧その他、EU、中国向け等**発電機**(9.3%増)、⑨中国、北米 ASEAN 向け等**軽機械**(9.2%増)、⑩ASEAN、その他、北米向け等**産業車両**(6.8%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、農業機械(29.4%減)、録画・再生機器(28.9%減)、乗用車(27.3%減)、電子計算機(27.2%減)、デジカメ(23.2%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率、10機種以内) (単位:億円)

2011/1			2011/2			2011/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体等製造装置	1,590	115.0	工作機械	764	90.9	工作機械	928	48.4
工作機械	503	63.0	繊維機械	237	63.5	産業用ロボット	106	39.0
建設機械	923	57.7	運搬機械	242	56.8	繊維機械	276	37.6
産業用ロボット	75	51.1	建設機械	1,256	52.2	陸用内燃機関	434	20.5
陸用内燃機関	328	38.0	産業用ロボット	98	51.4	ベアリング	424	18.8
運搬機械	191	32.3	陸用内燃機関	431	51.1	バルブ・コック	374	17.3
産業車両	102	32.0	半導体等製造装置	1,561	35.5	半導体等製造装置	1,594	13.5
発電機	90	20.9	産業車両	127	33.0			
ベアリング	329	19.8	ベアリング	384	24.2			
電気・電子計測器	315	16.7	分析・試験・検査機	707	21.5			
機種合計	4,446	13.9%	機種合計	5,807	15.9%	機種合計	4,136	11.1%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/1			2011/2			2011/3		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	14	▲ 29.1	携帯電話	3	▲ 51.6	農業機械	142	▲ 29.4
電子計算機	409	▲ 24.1	船舶	1,561	▲ 26.5	録画・再生機器	13	▲ 28.9
民生電子部品	716	▲ 13.7	エアコン	8	▲ 25.0	乗用車	5,198	▲ 27.3
電子デバイス	2,761	▲ 12.9	発電機	95	▲ 24.3	電子計算機	489	▲ 27.2
医療機械	262	▲ 10.3	電子計算機	424	▲ 19.4	デジカメ	560	▲ 23.2
						ラジオ	11	▲ 13.2
機種合計	4,162	13.0%	機種合計	2,091	5.7%	機種合計	6,413	17.2%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機は2ヶ月連続、電子デバイスは3ヶ月連続マイナス～

・3月の機械輸入額は2.3%増と前月より伸び率はさらに鈍化した。その要因は、①二大輸入機種の電子デバイス(19.9%減)、電子計算機(7.3%減)がマイナスとなった他、航空機(52.6%減)、民生用電子部品(16.2%減)、医療機械、光学機械等、マイナス機種が拡大したこと等による。一方、携帯電話(2.2倍)、TV(42.8%増)、乗用車(32.4%増)は高い伸びを維持した。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、医療機器、白物家電、録画・再生機器、エアコン、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、中国(19.0%増)、ASEAN(2.4%増)、その他地域(1.2%増)、EU(2.8%減)、韓国・台湾(10.3%減)、北米(20.9%減)の順となっており、北米の伸び率低下が目立っている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/1				2011/2				2011/3			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,794	6.7	13.0	電子計算機	1,455	▲ 6.4	12.4	電子計算機	1,770	▲ 7.3	12.8
電子デバイス	1,685	▲ 1.5	12.2	電子デバイス	1,375	▲ 3.5	11.8	電子デバイス	1,425	▲ 19.9	10.3
TV	596	61.8	4.3	自動車部品	528	0.2	4.5	重電気機械	642	4.8	4.6
重電気機械	664	13.9	4.8	重電気機械	525	3.6	4.5	乗用車	620	32.4	4.5
自動車部品	638	6.3	4.6	TV	487	38.2	4.2	TV	601	42.8	4.3
乗用車	466	32.7	3.4	医療機器	454	0.4	3.9	自動車部品	598	▲ 2.1	4.3
白物家電	478	23.2	3.5	乗用車	444	86.9	3.8	携帯電話	592	125.1	4.3
携帯電話	438	59.5	3.2	携帯電話	407	58.8	3.5	医療機器	540	▲ 9.3	3.9
医療機器	450	8.2	3.3	白物家電	374	2.3	3.2	白物家電	492	23.0	3.6
民生用電子部品	336	▲ 3.2	2.4	光学機械	328	7.2	2.8	光学機械	358	▲ 7.1	2.6
光学機械	333	14.7	2.4	航空機	317	▲ 12.0	2.7	民生用電子部品	305	▲ 16.2	2.2
航空機	224	▲ 34.7	1.6	民生用電子部品	243	▲ 25.6	2.1	航空機	93	▲ 52.6	0.7
12機種合計	8,102		58.8	12機種合計	6,694		57.3	12機種合計	7,943		57.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械